



2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年2月4日

上場会社名 能美防災株式会社

上場取引所 東

コード番号 6744 URL <https://www.nohmi.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊藤 龍典

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 専務執行役員 管理部門担当 (氏名) 岡村 武士

TEL 03-3265-0214

四半期報告書提出予定日 2021年2月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	71,040	8.9	5,395	36.4	5,781	33.4	3,575	37.2
2020年3月期第3四半期	77,956	14.5	8,478	113.7	8,680	107.7	5,693	134.9

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 4,004百万円 (30.5%) 2020年3月期第3四半期 5,759百万円 (147.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	59.29	
2020年3月期第3四半期	94.42	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	130,287	99,641	75.3
2020年3月期	136,666	97,671	70.4

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 98,105百万円 2020年3月期 96,147百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		16.00		17.00	33.00
2021年3月期		16.50			
2021年3月期(予想)				16.50	33.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	107,000	8.8	11,000	27.3	11,200	27.5	7,450	29.2	123.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	60,832,771 株	2020年3月期	60,832,771 株
期末自己株式数	2021年3月期3Q	533,773 株	2020年3月期	533,659 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	60,299,093 株	2020年3月期3Q	60,299,212 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により急速に悪化し、厳しい状況で推移いたしました。足元では感染の再拡大により緊急事態宣言が再び発出されるなど、先行き不透明な状況が続いております。

当防災業界におきましても、企業収益の大幅な減少が続くなか、民間設備投資が抑制されることによる受注環境の悪化が懸念されるなど、依然として先行きを見通すことは困難な状況となっております。

このような環境のなか、当社グループは緊急事態宣言下におきましても社会の安全のため防災設備の機能確保を重視しつつ、国や自治体の方針に準拠して在宅勤務や時差出勤をできる限り推し進めるなど感染防止に努めながら事業活動を継続してまいりました。その結果、当第3四半期連結累計期間における受注高は88,964百万円（前年同四半期比3.1%増）、売上高は71,040百万円（前年同四半期比8.9%減）となりました。

利益につきましては、前年同四半期に比較的採算性の良い物件が集中していたことなどから、営業利益は5,395百万円（前年同四半期比36.4%減）、経常利益は5,781百万円（前年同四半期比33.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,575百万円（前年同四半期比37.2%減）となりました。

業績の内訳をセグメント別にみますと、火災報知設備につきましては、売上高は24,324百万円（前年同四半期比8.0%減）、営業利益は2,903百万円（前年同四半期比34.2%減）、消火設備につきましては、売上高は26,026百万円（前年同四半期比11.7%減）、営業利益は4,515百万円（前年同四半期比13.0%減）、保守点検等につきましては、売上高は17,459百万円（前年同四半期比4.1%減）、営業利益は3,096百万円（前年同四半期比13.2%減）、その他につきましては、売上高は3,229百万円（前年同四半期比15.4%減）、営業利益は50百万円（前年同四半期比79.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産につきましては、現金及び預金8,042百万円の増加、未成工事支出金474百万円の増加、仕掛品391百万円の増加等があったものの、受取手形及び売掛金16,160百万円の減少等により、前連結会計年度末に比べ6,379百万円減少し、130,287百万円となりました。

負債につきましては、未払法人税等2,723百万円の減少、賞与引当金1,869百万円の減少、支払手形及び買掛金727百万円の減少等により、前連結会計年度末に比べ8,349百万円減少し、30,646百万円となりました。

純資産につきましては、利益剰余金の増加を主因として、前連結会計年度末に比べ1,969百万円増加し、99,641百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の業績予想は、2020年4月に発出された緊急事態宣言を受けて事業活動の一部を制限せざるを得なくなった影響が、同年6月末まで継続すると仮定して算定しておりました。今年に入り再び緊急事態宣言が発出されるなど市場の動向は非常に不透明であります。通期業績予想につきましては2020年5月11日に公表した予想数値に現時点での変更はありません。今後、事態が大きく変動して業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに開示いたします。

なお、当社グループの売上高は建設業界の影響を受ける部分が多いため、下期、特に第4四半期に集中する傾向があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	42,707	50,749
受取手形及び売掛金	44,116	27,955
商品及び製品	2,742	2,986
仕掛品	829	1,221
原材料及び貯蔵品	4,552	4,567
未成工事支出金	5,935	6,409
その他	788	1,058
貸倒引当金	△363	△396
流動資産合計	101,308	94,552
固定資産		
有形固定資産	19,703	20,035
無形固定資産	1,508	1,722
投資その他の資産		
投資有価証券	5,954	6,160
その他	8,288	7,919
貸倒引当金	△96	△102
投資その他の資産合計	14,146	13,977
固定資産合計	35,358	35,735
資産合計	136,666	130,287
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,543	3,815
電子記録債務	4,313	4,257
短期借入金	18	16
未払法人税等	2,866	142
賞与引当金	3,504	1,635
製品保証引当金	25	4
完成工事補償引当金	56	56
工事損失引当金	879	1,143
その他	13,269	10,409
流動負債合計	29,477	21,483
固定負債		
社債	61	31
長期借入金	19	7
役員退職慰労引当金	170	184
製品保証引当金	172	237
工事履行保証損失引当金	203	203
退職給付に係る負債	7,907	7,795
資産除去債務	111	113
その他	871	590
固定負債合計	9,517	9,162
負債合計	38,995	30,646

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,302	13,302
資本剰余金	12,868	12,868
利益剰余金	70,279	71,830
自己株式	△280	△280
株主資本合計	96,170	97,720
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	669	952
為替換算調整勘定	303	288
退職給付に係る調整累計額	△995	△856
その他の包括利益累計額合計	△22	384
非支配株主持分	1,523	1,536
純資産合計	97,671	99,641
負債純資産合計	136,666	130,287

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	77,956	71,040
売上原価	52,368	48,232
売上総利益	25,587	22,808
販売費及び一般管理費	17,109	17,412
営業利益	8,478	5,395
営業外収益		
受取利息	12	8
受取配当金	59	59
持分法による投資利益	51	171
為替差益	2	-
補助金収入	45	48
保険返戻金	2	14
その他	111	136
営業外収益合計	286	438
営業外費用		
支払利息	4	9
為替差損	-	3
貸貸費用	19	17
損害賠償金	32	-
その他	27	21
営業外費用合計	83	52
経常利益	8,680	5,781
特別損失		
投資有価証券評価損	40	367
固定資産処分損	69	7
特別損失合計	110	374
税金等調整前四半期純利益	8,570	5,406
法人税等	2,818	1,797
四半期純利益	5,752	3,609
非支配株主に帰属する四半期純利益	58	33
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,693	3,575

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	5,752	3,609
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	127	281
為替換算調整勘定	△215	△26
退職給付に係る調整額	93	138
持分法適用会社に対する持分相当額	1	1
その他の包括利益合計	7	395
四半期包括利益	5,759	4,004
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,781	3,981
非支配株主に係る四半期包括利益	△21	23

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の算定方法

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	火災報知 設備	消火設備	保守点検等	計				
売上高								
外部顧客への売上高	26,442	29,488	18,208	74,139	3,816	77,956	—	77,956
セグメント間の内部 売上高又は振替高	74	32	0	107	156	263	△263	—
計	26,517	29,521	18,208	74,247	3,973	78,220	△263	77,956
セグメント利益	4,411	5,191	3,565	13,168	245	13,414	△4,935	8,478

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、駐車場車路管制システム等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△4,935百万円は全社費用であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3 セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	火災報知 設備	消火設備	保守点検等	計				
売上高								
外部顧客への売上高	24,324	26,026	17,459	67,811	3,229	71,040	—	71,040
セグメント間の内部 売上高又は振替高	50	62	0	112	152	264	△264	—
計	24,374	26,089	17,460	67,923	3,381	71,305	△264	71,040
セグメント利益	2,903	4,515	3,096	10,515	50	10,566	△5,171	5,395

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、駐車場車路管制システム等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△5,171百万円は全社費用であります。
全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3 セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。